

図1 アイデアをまとめた図(セミナーの目標)

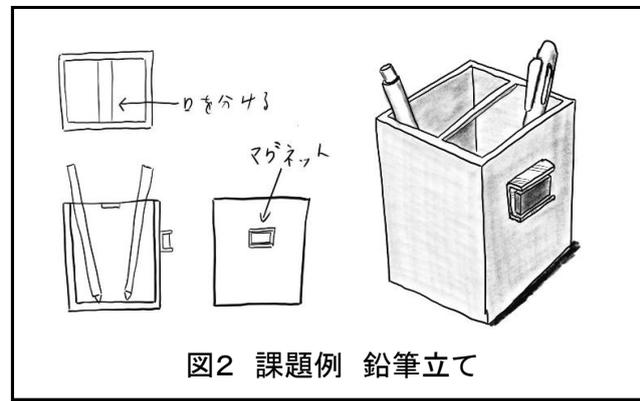


図2 課題例 鉛筆立て

| セミナータイトル | プロダクトデザインのためのスケッチ製図技術 | | | | |
|----------------------|--|-------|--------------|-----------|------|
| 対象企業 | 機械設計 | 金属加工 | 電気・通信設備 | 建設業省エネ判断 | |
| | 機械加工 | 電気・電子 | 居住関連、ビル設備、住宅 | IT関連、情報通信 | 業界不問 |
| 対象者 | 設計のための アイデアをまとめる 方 | | | | |
| | 製造現場で中心・中核 的な方 | | | | |
| | スケッチ(ポンチ絵)による 情報伝達 が必要な方 | | | | |
| 養成する能力 | 「機械設計/機械製図の現場力強化をめざして、技能高度化に向けたプロダ | | | | |
| | クトデザインのためのスケッチ演習を通して設計現場で求められる形状把握、 | | | | |
| | 空間認識の能力に関する総合的かつ実践的な知識、技能を習得します。 | | | | |
| 企業にもたらされるメリットや特徴 | 2次元図面からの 形状把握・空間認識力が向上 する。 | | | | |
| | 製造現場における 形状の伝達がスムーズ に行え、ミスが減少する。 | | | | |
| | アイデアをまとめやすくなり、 新しい発想 に結び付く。 | | | | |
| 当セミナーに関連するセミナー(受講推奨) | 特になし 「実践機械製図」における投影法をクローズアップしたのですが、必須ではありません。 | | | | |
| 過去の受講者の声 | 自分の伝えたいことをより伝えやすくなった。 | | | | |
| | イラストで伝える時のポイントが分かった。 | | | | |
| | スケッチに対する考え方が良く理解できた。 | | | | |

| | | | |
|--------------|--|----|------------|
| 開催会場 | 羽咋市商工会(〒925-8585 石川県羽咋市旭町ア139番地) | | |
| コース番号 | 6M108 | 定員 | 10 |
| 日程 | 6/29(木),6/30(金) | 時間 | 9:30~16:30 |
| 受講料 | 7,500 | 食堂 | なし |
| 持参品 | 筆記用具(鉛筆, 消しゴムなど) | | |
| 使用機器 | 特になし | | |
| 講習内容(スケジュール) | 1. 機械製図概要 (1)図面の意義 (2)投影法の確認 (3)機械製図規格の確認 2. 製品と図面 (1)図面から製品形状の把握 (2)製品形状から図面への展開 3. 具体化のためのプロダクトデザイン (1)アイデアの視覚化 (2)プロダクトデザインのためのスケッチ技法 | | |
| 申請方法 | 専用の申込用紙にご記入の上、FAX(0768-52-3139)にてポリテクカレッジ石川へ申込 | | |